

かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～
第16回かごしまグランドマスター試験
問 題

問1. 東シナ海に面した薩摩半島の海岸線は美しく、変化に富んだ地形と多様な動植物を見ることができる。

いちき串木野市江口浜から南さつま市坊津へ至る海岸線について、観光資源(地形地質・景観・動物など)を含めながら、以下の語句を入れて200字程度(160字以上、240字以下)で文章を作成しなさい。

「蓬萊」 「万之瀬川河口」 「野間半島」

問2. 五代才助・松木弘庵・森金之丞の3人が、慶応元年に共同で参加した事業と彼らの功績を、3人の明治期以降の名を入れて200字程度(160字以上、240字以内)で述べなさい。

問3. 2014年ノーベル物理学賞を受賞した赤崎勇博士の出身地を明記し、その地域の特徴と代表的な伝統行事について以下の語句を入れて200字程度(160字以上、240字以内)で説明しなさい。

「武家屋敷」 「ソラヨイ」 「平和教育」

問4. 大隅地域の観光資源の特徴について、200字程度（160字以上、240字以内）の文章で書きなさい。但し、以下の3つのキーワードを使用すること。

「佐多岬」 「弥五郎どん祭り」 「鹿児島宇宙空間観測所」

問5. 北薩地域に関して次の問いに答えなさい。

【1】次の文章の空欄に当てはまる語句を記入しなさい。

北薩地域は、薩摩川内市、阿久根市、毎年冬になるとツルが訪れる①、さつま町、ブリの養殖が盛んな②町から成る。

最近のトピックスとしては、①を訪れるツルから③ウイルスが検出され、関係自治体では対応に追われている。

また、川内～八代間を運行する並行在来線の④鉄道では、⑤鋭治氏のデザインによる食堂列車の運行が始まり、観光客に大変好評を博している。

【2】北薩地域には多くの有名な温泉が存在する。北薩地域の温泉2ヶ所と、その温泉の特徴およびそれぞれの地域を紹介する文章を、200字程度（160字以上、240字以内）で書きなさい。